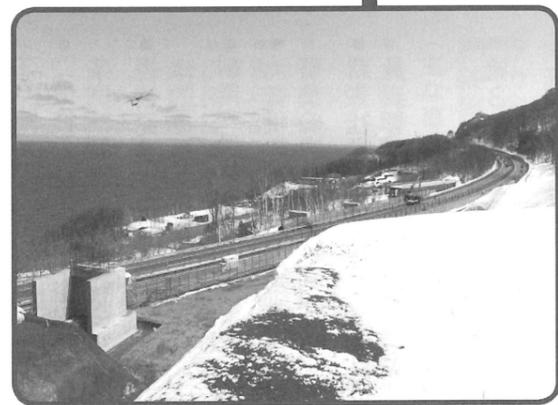




(写真提供：NEXCO 東日本)



小樽ジャンクション
Bランプ
H29. 3 撮影

(写真提供：NEXCO 東日本)

※ジャンクション
高速道路同士が交差する場所（インターチェンジ）のこと。一般道路と接続する通常のインターチェンジと区別するため、ジャンクションと呼んでいます。

※ランプ
高速道路の本線車道への取付道路のこと。

北海道新幹線

天神地区

2030年度末 新小樽 (仮称) 駅 開業予定

札幌・小樽 → 東京 約5時間

つなかる! ひろがる! 北海道新幹線

JR 北海道 H5 系 / Hokkaido Railway Company Series H5 / JR北海道提供

北海道新幹線建設促進期成会 / 北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会 / 北海道新幹線建設促進小樽期成会

を含めた近隣スキー場にも訪れるようになっていきます。

国際的に注目される倶知安、二七〇地区と小樽との繋がりが強化されることで広域観光の推進が期待されます。

(観光入込客数はH27年度…北海道後志総合振興局調べ)

アクセス強化で救急医療が充実

後志地域には、脳卒中、心筋梗塞や複数の診療科にわたる重篤な患者を受け入れられる医療機関が少なく、設備が整っていない医療機関への搬送に時間がかかっているのが現状です。

現在、小樽インターチェンジ付近には多くの医療機関が集積しており、夜間急病センター、済生会小樽病院、小樽市立病院、また、後志唯一の地域周産期母子医療センターである小樽協会病院があります。いずれも救急搬送時、小樽インターチェンジから5分以内で到着できるようになります。

フルジャンクション化によって後志地域から、脳・心疾患など



小樽市立病院

の救急医療、周産期医療など一刻を争う救急搬送時間が短縮されます。

また、一般道路での救急搬送は交差点等で最徐行するため、発進、停車の繰り返しで患者の負担になりますが、一定速度で走行できる高速道路は救命にとって大きなメリットです。

農水産物をより早く安定した品質で

後志地域で生産される農水産品の一部は、小樽港から関西方面へ出荷されています。高速道路での農水産物の輸送は、路面の凹凸や急カーブ、急勾配での



小樽協会病院 (周産期母子医療センター)

荷痛みを防止鮮度を保ち、品質の安定に繋がります。

冬季の降雪・積雪期による高速道路は安心・安全

高速道路はカーブや勾配が少なく、路面状況が良好な上、信号や歩行者がいないので速達性・安全性に優れており、また、積雪寒冷地域の救急搬送や経済活動にも欠かすことができない道路で、さらにフルジャンクション化は市内中心部への利便性向上に繋がります。

【これまでの経緯】

- 1999年(平成11年)11月
北海道横断自動車道・余市IC-小樽JCT間の都市計画決定
- 1999年(平成11年)12月
余市IC-小樽JCT間の整備計画決定
- 2006年(平成18年)3月
余市IC-小樽JCT間の実施計画確保認可
- 2010年(平成22年)3月
余市IC-小樽JCT間の用地取得開始
- 2011年(平成23年)3月
余市IC-小樽JCT間の工事着手
- 2017年(平成29年)3月
小樽JCTフルジャンクション化決定
- 2018年(平成30年)秋
北海道横断自動車道・余市IC-小樽JCT間供用開始予定



平成29年3月16日、小樽・余市・岩内・倶知安の4商工会議所と小樽市医師会の連名による要望活動を実施。中村裕之衆議院議員と国土交通省を訪問し、山本会頭から要望書を田中良生国土交通副大臣に手渡し、「3月末までに東日本高速道路に許可を出すよう指示する。」と回答を受けました。